

# ふるさとの昔話

## 山中共古「吉居雑話」より



明治の末年、吉原教会に山中笑(号を共古)という牧師がいました。民俗学者としても知られた彼は、吉原での生活を見聞記録「吉居雑話」としてまとめ、当時の伝説や年中行事わらべうたなどを紹介しています。

すでに、昨年12月5日発行の広報ふじて、「石坂の鶏頭豆」という伝説を紹介しましたが、今回は、史話とわらべうたを紹介します。

### 三日市場浅間神社の湧水

伝法の三日市場浅間神社からは、豊富な湧水が出ており、今泉村ではこの水を引き、田を作っていました。

水代として、毎年、年貢7俵を納めることを約束しましたが、不作つづきのため納めることができません。神社では、年貢のことを村にもちかけると、村人たちは「大変申し訳ありません」と謝りましたが、納めるお米がありません。

そこで、やはりこの神社の水を使っている、日野屋という酒造屋へ相

談したところ、日野屋では心よくこの7俵の米を神社へ納めてくれました。それ以来、維新まで毎年納めてくれたとのことでした。

### 富士のわらべうた



#### ▶吉原の羽根つきうた

※お年寄の中には、子どものころ唄った人もあるかも知れませんネ…。

・おきよ——よお京 ねさん十よ  
お京よお京 ねさん二十よ お京よ  
お京 ねさん三十よ (百まで繰り返し、また元へ戻る)

・一人きな二人きな 見てきな寄ってきな  
いつきたむこどん ななこの帯をやの字に結んで ここのやじや十よ

(富士東高校教諭 加藤善夫さん)

## 地名の由来

### 島田



市役所屋上から青島、津田をみる

明治22年3月1日吉原町と町村組合制をしいた島田村は、青島村・依田原村・中河原村・中河原新田・田島村・田島新田・荒田島村・津田村・外木村の九ヶ村が合併した村です。この村々の中に田の字や島という字の村が多かったため、島田村にしたのかも知れません。

これら九ヶ村の中には、人家が一軒もないという村もありました。

## 郷土の遺跡



### 人々の生活

#### 大坂上古墳出土

### 柄頭



圭頭式



環頭式



方頭式



頭椎式

県立吉原工業高校構内に移築復元されている古墳は、7世紀前半頃に造られたと考えられる『大阪上古墳』です。

この古墳は直径17m程の円墳で、金銅製の柄頭が出土しました。

大刀の飾りは、柄、鐔、鞘に分けられ、なかでも柄の端に付く柄頭は最も特徴的な飾りです。

柄頭は形によって環頭式、円頭式、圭頭式、頭椎式、方頭式等が知られています。

大阪上古墳から出土した柄頭はこのうち方頭式と呼ばれるものです。市内では船津、須津両古墳群から4点程出土していますが、須津から出土したと言われる環頭式柄頭は金銅製で、輪の中には2頭の竜が珠をふくもうとする飾りがある立派なもので、東京国立博物館に保管されています。

古墳時代、地方の首長はこの美しい飾り大刀や玉等で身体を飾り支配者であることを誇示し、さまざまな「まつりごと」を行うことにより、領民からあがめられていました。